

岐阜医療科学大、中日本自動車短大、中日本航専

学生に合同職域接種

可児のキャンパス留学生も対象



岐阜医療科学大(関門市)
平賀)、中日本自動車短大(坂祝町)、中日本航空専
門学校(同市迫間)を運営

3校の学生らを対象に今月から始めたワクチンの合同職域接種。可児市虹ヶ丘、岐阜医療科学大可児キャンパス

する学校法人神野学園(名古屋市)は、3校の学生を対象にした新型コロナウイルスワクチンの合同職域接種を、今月から可児市虹ヶ丘の同大可児キャンパスで始めた。短大と専門学校に在籍する留学生187人も接種を受ける予定で、ワクチン接種が進まない留学生の接種機会の早期提供につなげる。

接種するのは、留学生を含む3校の学生824人。学生以外にも教職員や学生の家族、近隣企業の従業員を加えると、計1461人が10月12日までに2回目の接種を終える。

短大は留学生328人の

うち5割以上が職域接種を希望した。日本語でのやりとりが難しく、自治体の集団接種などに自力で予約できない学生も多いという。

担当者は「留学生にもワクチン接種の機会を設けた」と話している。

(河合修)